

●進路変更を考えた時 一休学？退学？進路変更？

不本意入学の場合

ほんとは別の大学に行きたかった。希望の大学に受からなかった。もっと頑張っていれば違う大学にいったのに。

そんな思いを抱えながら入学した人もいるでしょう。

実際入学してみたらこんなはずではなかったと思うこともあるでしょう。

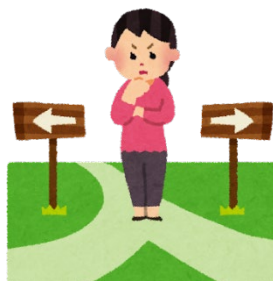
そんな時は自分が納得がいかない本当の理由を考えるチャンスかもしれません。

10代20代の時の1~2年は、長い人生を考えると決して大きな損失ではありません。むしろ、**自分や自分の将来について、真剣に悩む時は、その後の人生を主体的に生きることができるチャンス**といえるでしょう。

途中で興味関心が変わった場合

大学生はいろいろなことを吸収できる時期であり、**自分の興味の対象が変わることは十分ありえます**。おもしろいと思ったことはつらくても頑張れますが、他人の価値観で選んだことを頑張るのはただつらいだけです。

自分の気持ちに素直に耳を傾けるのは、なかなか難しいことですが、**進路を変えるタイミングに遅すぎるということはありません**。



大学を続けることが苦しくなった時

「みんなが行くから」「親や先生が勧めるから」大学に来た人もいるでしょう。

しかし大学での勉強は、高校とは違って、言われたとおりのことをしているだけでは卒業できません。自分で問いを立て、疑問に思ったことを自分で調べ、卒業論文を書くことが必要です。そういった抽象的な作業にどうしても興味が持てないこともあります。自分の考えがどうしても出てこないこともあるでしょう。

自分だけではなく**家庭の事情**や**体調的なこと**などで、どうしても大学生活を続けていくのが難しくなる時もあります。

やむを得ず進路を変更せざるを得ない場合、**一旦休学して考えてみる**という方法もあります。

どのような進路がよいのかを、一緒に考え、よりよい方法を一緒に探すこともカウンセリングルームの役割の一つです。

進路や将来のことで迷ったり悩んだりした時には、遠慮なくカウンセラーにご相談ください。一人で考えていた時には思いつかなかった方法が見えてくるかもしれません。

